

かぐや姫合唱団(サークル「竹取の里」) 団員募集

「かぐや姫合唱団」(サークル「竹取の里」)について

私たちは、平井秀明先生の素晴らしいオペラ「かぐや姫」に感動して集まった仲間たちです。

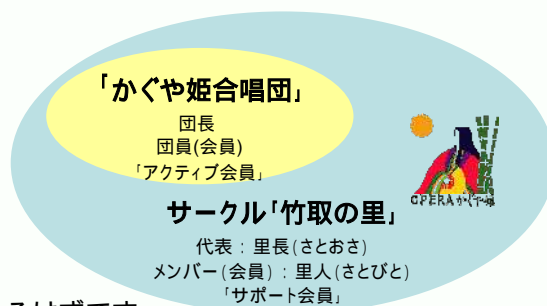
サークル「竹取の里」は、オペラ「かぐや姫」のさらなる成長のために、このオペラを愛し育てたい気持ちに溢れる有志により、ごく自然発生的に創立(08年1月)された、他に類を見ないユニークで幅広い輪で構成されるグループです。(08年7月現在、約70名)

このサークル「竹取の里」を母体とする「かぐや姫合唱団」は、過去7回の上演(東京、埼玉、新潟、徳島、オーストラリア)に参加し親睦を深めた日本各地の合唱愛好家を中心となり結成されました。今後内外での上演(岡山、プラハほか)の際には、各地の合唱団とも合流して公演に参加していく予定です。また、09年4月18日、プラハ(チェコ)の殿堂スメタナホール公演への参加者も募集中です。

練習は月1回程度、渋谷の聖ヶ丘教会で行っており、作曲者の平井秀明先生自らによる、合唱の指導を受けることができます。緩やかな活動ペースのため、他団体との兼ね合いも容易で、合唱活動の他に親睦会や交流イベントなども実施しています。「かぐや姫合唱団」団員(「アクティブ会員」)は積極的に練習や公演に参加し、「サポート会員」は聴衆側応援団として、練習の見学、懇親会への参加、公演鑑賞などを行っています。

どなたでもお気軽にサークル「竹取の里」の里人(会員)となり、「かぐや姫合唱団」の団員として、今回のプラハ公演のみならず各種公演にもご参加下さい。心より歓迎いたします。

一度歌ったら、きっとあなたもオペラ「かぐや姫」の虜になるはずです。



《今後の練習スケジュール》

- ・歌って懇親会 7月29日(火)、8月5日(火)、8月19日(火) ほか
- ・練習場所 聖ヶ丘教会(渋谷区南平台町9-14 渋谷駅南口より徒歩8分)
- ・練習時間 18時30分~20時30分 / 連絡事項&懇親会 20時30分~
- ・次回公演 サマーコンサート2008 8月28日(木)/角筈区民ホール(西新宿)

サークル「竹取の里」では随時見学も受け付けております。どうぞお気軽にいらしてください。和気あいあいとした楽しいサークルです。私たちと一緒に、美しく親しみやすいオペラ「かぐや姫」を歌いましょう!! 皆様のご参加を心よりお待ちしております。

サークル「竹取の里」お問合せ先

- ・電子メール: kaguyahime@hideaki-hirai.com
- ・電話: 090-4929-0276 (石川)

入会申込書 送り先

- ・Fax: 03-3221-4797 有斐閣電子メディア開発室気付 サークル「竹取の里」事務局宛
- ・郵送: 〒101-0051 千代田区神田神保町2-17

有斐閣電子メディア開発室気付 サークル「竹取の里」事務局宛

ホームページURL: <http://www.hideaki-hirai.com/TC/>

「かぐや姫合唱団」(サークル「竹取の里」) 団員募集!!



音楽監督・指揮者

平井 秀明 (HIDEAKI HIRAI) 氏プロフィール



Photo : www.carpenterturner.co.uk

幼少よりチェロを父平井丈一朗に、ピアノと作曲を祖父平井康三郎に師事。桐朋高校卒。米国ロチェスター大政治学科卒。イーストマン、ピーボディ両音楽院で指揮法を学ぶ。これまでに指揮をD・エフロン、F・プラウスニツ、O・トゥルフリック、サー・コリン・デイヴィスの各氏に師事。97年第6回フラデツ・クラロベ国際指揮者コンクール(チェコ)で第1位となり、直ちにチェコ・ヴィルトゥオーゾ室内管首席指揮者に就任。日本国内では既に、新日本フィル、東京フィルはじめ、ほとんどの主要楽団に度々客演し好評を博す。

03年、自作オペラ「かぐや姫」の世界初演では、「作曲・台本・指揮」の3役を見事にこなし一躍楽壇の注目を集めた。同年、新国立劇場小劇場「イタリアのモーツァルト」公演でデビュー、大きな話題を集め、05年同大劇場公演、「フィガロの結婚」を指揮して各方面から絶賛され、06年1月同小劇場公演「セルセ」を指揮。同月、東京オペラ実験劇場音楽監督・指揮者に就任するなど、オペラ指揮者としても各地で活躍している。08年11月に開催される、「第23回国民文化祭・いばらき2008」より新作オペラ「小町百年の恋」作曲・台本の委嘱も受けるなど、「新時代のホープ」として賞賛されている。

平井秀明公式ウェブサイト <http://www.hideaki-hirai.com>

オペラ『かぐや姫』ってどんなオペラ？

オペラ『かぐや姫』は、誰もが知る「竹取物語」をもとに、平井秀明氏が台本をおこし作曲した全2幕のオペラです。2003年世界初演以来、既に内外各地で再演され、各方面から絶賛されている今話題の作品です。わかりやすいストーリーに加え、美しいメロディーや心温まるハーモニーが随所に散りばめられており、初演を聴いた子供たちが帰りに口ずさんでいたほど、親しみやすく感動的な音楽は、世代を超えて多くの方々に絶賛いただいております。

“三世代で楽しめる”をモットーに誕生した作品は、親子孫で鑑賞できるほか、合唱出演者(児童、母子、成人合唱団)として皆様に気軽に参加できる、世界的にも画期的な「市民参加型」オペラです。2005年には文化庁文化体験プログラム支援事業にも取り上げられ、音楽鑑賞教室または体験学習にも最適なプログラムとしても高く評価されております。

2006年6月には“日豪交流年記念”メインイベントとして、オーストラリア首都キャンベラにて全2幕を上演し大成功を収め、同年7月の凱旋帰国公演(埼玉県和光市)は、NHKニュースにも取り上げられるなど、大きな話題を呼びました。さらに同年12月には、新潟県妙高市文化ホールのリニューアル記念事業として上演されたほか、今後も、ブラハの殿堂スメタナホール(2009年4月)をはじめ、国内外で多くの再演が予定されており、日本を代表するオペラとして幅広い方々に親しまれる作品です。



2003年2月東京目黒パーシモンホールでの初演から